

福谷 悟さん
(湊中央区)
昭和53年12月14日生

【株藤辰商店】

※仕事は 蒲鉾製造工程を一通り経験して、今、播漬という部門を担当しています。魚のすり身に味付けをするところで、製品の出来上りを左右する重要な部署なので気を入れて仕事をしています。味付けの分量をすり身の量によって変えなければいけないので特に気を使います。3人でやっていますが、先輩の手早い作業に感心しています。店頭で会社の製品があると嬉しいですが、反面味付けがうまくいっているかドキドキします。

※趣味は 音楽鑑賞です。ジャンルは特になく、いいなと思えば何でも聞きます。それから、ドライブ。今は、免許がないので助手席ですが、早く免許を取って運転したい。

※好きな言葉は 高校に入学するとき先輩に「やるならやるで後悔するな」と言われた言葉。高校に入るときから食品会社に就職しようと思っていた。自分で選んだ会社なので、後悔しないよう頑張りたい。

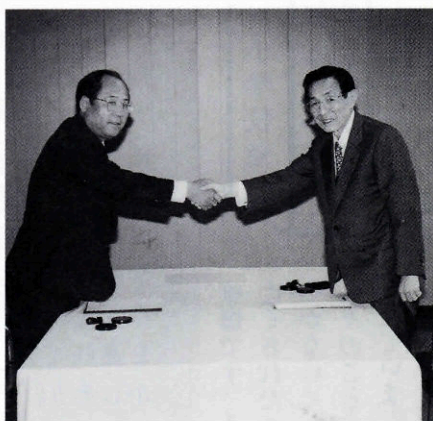
※気をつけていることは 敬語の使い方が難しい。今まで敬語をほとんど使ったことがないから…また、外で会社の人に会った時あいさつするよう心がけています。

※結婚は 今は、家に帰っても疲れてすぐ寝てしまう。そんなことを考える余裕はありません。

※どんな街を 今の長門市が好きです。これからも山や緑を大切にしてください。山を削って道路をつくったり宅地造成などは避けて欲しい。

※自由に一言 県外に出ている友達に会いたい。これからも一生懸命おいしい蒲鉾を作りますのでみなさん買ってください。

「災害時における相互協力に関する覚書」を締結



市内6郵便局と市は、地震その他による災害発生時に、相互に協力し適正な対応を円滑に遂行することを目的とした「災害時における相互協力に関する覚書」を締結、6月10日藤田市長と水間長門郵便局長が調印しました。

覚書には郵政事業にかかわる災害特別事務取扱の実施、郵便局管理施設及び用地の避難場所、物資集積場所としての使用等が盛り込まれています。

赤崎神社楽棧敷をきれいに



深川小学校では5月31日、赤崎山公園の清掃を行いました。参加したのは6年生120人で、額の汗をぬぐいながら、約1時間かけてゴミを拾い集めました。これは、公共の物を大切にして社会のためにつくそうという精神を養うことを目的に、平成6年度から実施しているもので、今年度、全学年で10回行うことにしています。

応援団

みすゞの詩と心の故郷



東京都渋谷区
小川里永子さん
(劇団えるむ)

5月末、梅雨直前のほんのひとまの清々しい晴日に、仙崎にある金子みすゞさんの生家跡を劇団の皆と訪ねた。

2日後に迫った「みすゞ凜々」の初日を控えて、これまでの稽古を締めくくる貴重な数時間を体験した。

みすゞ顕彰会の嶋田さんに導かれて歩いたみすゞ通りや王子山、そこから見おろす仙崎の港に、みすゞの詩にうたわれたままの温かい雰囲気70年近くたった今も残っていることに感動し、みすゞを演ずる私に改めて大きな力を与えてくれた。

都会暮らしで忘れかけていた日本の、かつてはどこにでもあった美しい姿を、生き生きと詩に残したみすゞの素晴らしい感性と地元の方々の人柄が私の心を強くとらえて離さない。